

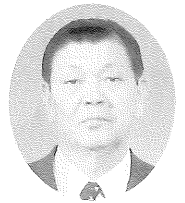
創立四十年を経て、更なる発展を願う

平成十四年十一月九日、白陵は華々しく創立四十周年を迎えました。

四十周年を記念して新築された壮大な記念棟で繰り広げられた数々の記念行事、どれ一つとってみても、およそ昔の白陵のイメージからは想像できない豪華であか抜けたイベントでした。その中でも、五期生のホンダの石原信行さんと石原さんの友人の加山雄三さんとのトークショーが実現したことは大変嬉しいことでした。世界を舞台に活躍されている石原さんのお話に大いに勇気づけられ、加山雄三さんが本当に白陵に現れたことにびっくりしました。また、本年四月の統一地方選挙では、十九期、二十期の若い卒業生がそれぞれ市長、県議に見事当選されましたが、これも四十周年を象徴する出来事だったと思います。このように、白陵が「研究と訓練」「独立不羈」「正明闊達」を校是として歩んできた四十年の努力の成果は、同窓生一人一人の活躍振りが如実に現れているのではないのでしょうか。景気が低迷を続け混沌とした時代が続く中、白陵OBが一層その輝きを増し、それぞれの立場で社会に貢献されんことを大いに期待しています。

さて、四十年といえば、創立当初から白陵一筋で学校を牽引されてきた先生方が定年を迎えられ、次の世代へバトンが渡される時期でもあります。長年にわたり暖かく時に厳しくご指導いただいた先生方に深く感謝申し上げます。これからの白陵を支えていかれる先生方の一層のご活躍に大いに期待を寄せたいと思います。とりわけ、故園長先生の薫陶を直接受けられた同窓の校内幹事の先生方には、学校の中心となつての八面六臂のご活躍を大いに期待しています。

男女共学の中高一貫校のイメージも浸透し、教育内容・施設設備ともによいよ充実し円熟期を迎えた白陵であります。現在の状況に満足することなく、次なる五十周年に向け一層の発展を期待したいと思います。



落雷に目を醒ます！

理事長 三木 一正

それは途轍もなく大きな、耳をつんざくばかりの轟音でした。六月七日午後六時三十二分三十分、第一校舎の時計塔落雷の一瞬です。

創立以来初めての経験でしたが、その時思わず今は亡き創設者三木省吾学園長の顔が脳裏を横切ったのです。「この頃の大学進学成績は何だ！ たるんどんと違いまっか！ 落雷との重なる思いは最近の卒業生には分かりにくいでしょうが、古い先輩諸氏には間髪をいれず落ちる雷に怖かった、それでいて懐かしい学校生活を思い出させていることと思います。

ところで卒業生の皆さん、お元気でしょうか。昨年の創立四十周年には何かとお世話になりました。おかげで記念式典を始め記念行事は大盛況、今年度に入つてなお、四十周年と銘打った冠行事続行中といったところです。行事と言えば今年も高校修学旅行は悩み多しです。目的が海外だけにイラク戦争や、新型肺炎SARSのおかげで振り回された結果、今年に限っては六年前に遡り、「北海道旅行」と相成りました。歴史は繰り返すとでも言うのでしょうか。それでも、「味違う北海道」と銘打って、楽しく意義あるものにしてようと職員生徒一同頑張っているところです。

卒業生も二期生は、はや五十五歳、働き盛りの皆さんが各分野で活躍されていることは頼もしい限りです。昨年の記念講演会で俳優の加山雄三氏を誘って記念棟の舞台で「夢、創造、挑戦」と題して学校時代の思い出や教育対談を繰り広げてくださった五期生の石原信行氏は、本田技研の取締役、ヨーロッパ研究所の副社長として活躍中です。小さな卒にとらわれず、世界を股にかけて活躍する先輩達を見習って在校生たちに日々弾みのある毎日を送れる様、職員一同頑張つていきたいと思つています。そうすれば創設者の雷も落ちないですむことでしょう。

因みに付け加えておきますが、「全国高校格付け」なる単行本の二〇〇三年度版では、白陵は全国ベストテンにランクされています。(注：創設者の声、いっわけするな！)

皆さん、一度母校白陵をお訪ね下さい。そして、先輩から見た現在の白陵について聞かせて下さい。

最後になりましたが、諸兄姉のご健勝とご活躍を心より祈っています。



名簿発行へのお願ひ

白陵会会長 沼田 好道

盛夏の候、会員の皆様方にはますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。

この会報の名前となっている「Alma Mater 白陵」とは「我が母校、白陵」の意で、昭和五十六年の創刊号発刊の際、故三木省吾園長先生に名付けていただいたものです。母校白陵が、発展に次ぐ発展を遂げ、昨年盛大に創立四十周年を迎えられましたことは、我々卒業生にとりましては至上の慶びであり心より御祝いを申し上げます。

四十年の歴史の中には、バイタリティーと情熱に溢れた創設者三木省吾園長先生の急逝という大変悲しい出来事もありましたが、学園の驚嘆すべき発展の軌跡は、職員生徒が辛苦に耐えながら日々努力した結果の賜物であります。旧制姫路高等学校の伝統を受け継いだ白陵という由緒ある校名はこの四十年間で広く全国に知られたところではありますが、世間の風潮が軟弱になればなるほど、建学の精神に則り、「播州に白陵あり」の気概を持つリーダーとしての高い資質を備えた英才の育成に邁進し、更なる幸福をもたらして頂きたいと思ひます。

さて、白陵会では、来年度の事業として、第五回の名簿発行を予定しております。前回、平成9年度の発行からはや六年目を迎え、会員数も今春卒業の三十八期生まで六千四百三十六名を数え、この間の住所変更も目立つてまいりました。前回までは会員数が少なかったこともあり、名簿発行委員会が中心となり役員が手作りで名簿を作成していましたが、今回の名簿発行に際しては、より充実した中身を目指して、名簿作成の専門業者に作成を依頼することにいたしました。同窓会名簿は同窓会活動の原点とも言うべきです。会員の住所がわからないことにはこの会報もお届けすることができません。会員各位におかれましては、この点をご理解いただき、連絡カードの確認・返信並びに購入予約については、この点をこの会報もお届けさせていただきます。よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、このたび、白陵会では待望のホームページを開設しました。会からの情報発信のみならず、会員の皆様方の交流の場としても活用いただければと考えています。ぜひ一度アクセスしてみてください。

最後になりましたが、会員諸氏におかれましては、ご健康に留意されます。ご活躍されますようお祈り申し上げます。

『白陵会会員名簿』作成のお知らせ

平成9年より7年ぶりに「白陵会会員名簿」の全面改訂を企画し、平成16年12月発行の予定で現在準備を進めております。

今回の名簿は、名簿作成の専門業者である(株)サラト(姫路市)に調査・編集・印刷・発行までの作業を全面的に委託することになりました。

平成16年3月頃に第1回調査カード(会員名簿作成用往復はがき)を、会員の皆様へ発送する予定ですので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、今回の名簿は予約限定販売となりますので、調査カードのご返信の際には、是非ご予約くださいますようお願い申し上げます。

- 発行予定 平成16年12月下旬
- 頒 価 3,800円(送料込み)
- 規 格 B5判・約340頁
- 収録者 恩師を含め、平成16年3月までの同窓生約6,650名
- 委託業者 (株)サラト(姫路市)

【発行までの主な日程】

2004年

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(調査カード発送) 第一次調査		第二次調査 不明者調査開始		第三次調査			調査終了	印刷・製本	⇒ 発送

お願い

○同期会名簿・クラブOB名簿等の住所資料がございましたら、白陵会事務局までお送りください。

祝 白陵会ホームページ開設のご案内

白陵会では、この度ホームページを開設しました。

「歴史写真館」「活躍中の同窓生」「恩師は今」「同期会・クラス会の案内や報告」「掲示板」「部活動のページ」「事務局だより」「リンク集」等々、コンテンツも充実しております！

早速「お気に入り」に追加して、同窓生のコミュニケーションの場として、どしどしご活用ください。また、今後内容をより充実させていくために、皆様の貴重なご意見もお待ちしております。



<http://www.dosokai.ne.jp/hakuryokai/>

バナー広告募集

ホームページの最初の画面に掲載されるバナー広告を、1口1万円(平成17年3月までの20ヶ月間)にて募集しております。ご希望の方は、ホームページをご覧ください。

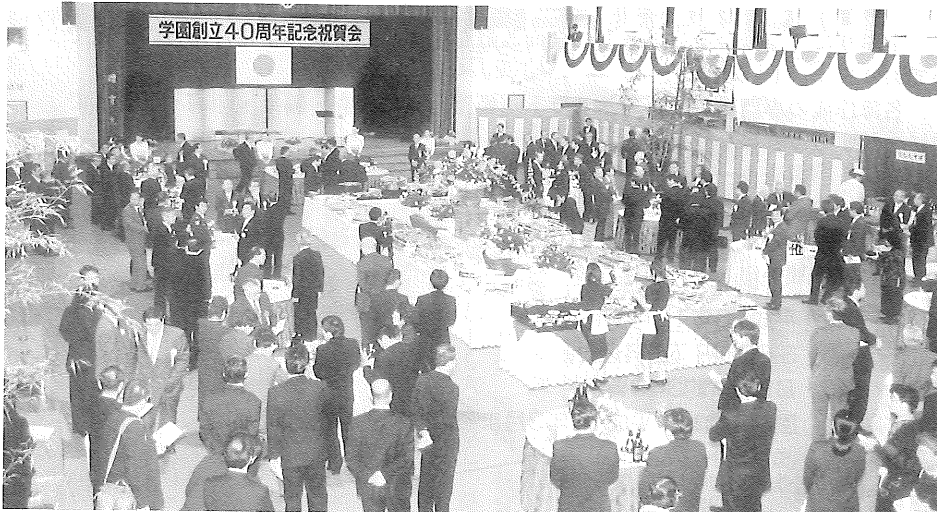
●お問合せ：ホームページ担当理事 尾上尚樹 E-mail n-onoe@nifty.ne.jp

白陵今昔物語 (17)

創立40周年記念式典特集

今回は、母校の創立四十周年記念行事として行われた様々なイベントを紹介させていただきます。

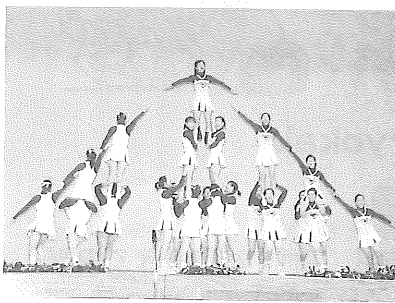
①40周年記念式典 (H14.11.9)



平成十四年十一月九日、昨年五月に竣工した壮大な創立四十周年記念棟の中で、全在校生、教職員、学園関係者並びに各界からの多数の来賓が参列し、学校法人三木学園・白陵中学校・白陵高等学校の創立四十周年記念式典が盛大に執り行われました。同窓会からは沼田会長以下多数の役員が代表して出席し、四十周年の喜びを共にしました。

式典は、三木省吾学園長始め関係物故者へ黙祷を捧げた後、三木一正理事長が式辞の中で、「英才の育成を目的として県知事より学園の設置認可を受け、白陵中学校・白陵高等学校を開校して四十年、創設者の理想実現のための取り組みの中で、創設者の急逝という事態を職員生徒が一丸となって乗り越えた。英国パブリックスクール、旧制高校に範をとり、教育の理想を掲げて一歩一歩前進。情報化社会において求められる判断能力を身に付けさせると共に、四季のわかる若者を育てたい。」と力強く述べられました。次に来賓を代表して、井戸敏三兵庫県知事、渡海紀三朗文部科学副大臣、西門兵庫県私学総連合会会長、田村高砂市長、江本育友会長からそれぞれ祝辞が寄せられました。次に学園創立時より長年にわたり三木学園のためにご尽力いただいた法人理事お二人に三木理事長より功労賞と記念品が贈られ、また、藤田家将先生以下三十三名の勤続二十年以上の教職員に対しては永年勤続表彰が行われました。次に生徒を代表して北川生徒会長が喜びと決意を述べ、最後に浅江校長が謝辞を述べられ校歌を高らかに斉唱して記念式典は終了しました。

その後、体育館において華やかに記念祝賀会が催されましたが、祝賀会では沼田好道白陵会会長より、全卒業生の万感の想いを込めた母校支援の力強い挨拶があり、最後に全員で高らかに白陵歌を吟じるなど大いに盛り上がった一日となりました。



④梅花女子大学チアリーディング部公演 (H14.9.8「文化祭」)



③Special Chinese Acrobat Dragon公演 (H13.11.15)



②元原利文先生講演会 (H13.11.10)

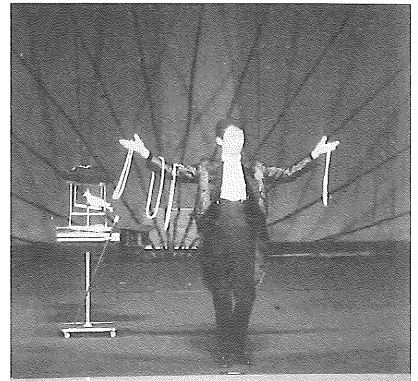
⑦石原信行・加山雄三 2人のビッグトーク (H14.11.15)



五期生で、本田技研上席研究員・ホンダヨーロッパ副社長の石原信行氏が友人の俳優・加山雄三氏と「二人のビッグトーク」と題して、夢・創造・挑戦をテーマに素晴らしい記念講演会が開かれました。会場となった広い記念棟も生徒に加え、加山雄三氏を一目見ようとの保護者や卒業生で超満員となりました。講演で、石原氏は自らの白陵時代を振り返りながら加山氏との出会いやエピソード、ホンダでの夢・創造・挑戦の体験を映像を交えながら熱く語られ、加山氏も自らの生い立ちや学生時代の思い出、何にでも興味を持つことの素晴らしさなどを語っていただきました。最後には、生徒のリクエストにこたえて、「サライ」を熱唱、生徒との大合唱のうちに終わりました。

護者や卒業生で超満員となりました。講演で、石原氏は自らの白陵時代を振り返りながら加山氏との出会いやエピソード、ホンダでの夢・創造・挑戦の体験を映像を交えながら熱く語られ、加山氏も自らの生い立ちや学生時代の思い出、何にでも興味を持つことの素晴らしさなどを語っていただきました。最後には、生徒のリクエストにこたえて、「サライ」を熱唱、生徒との大合唱のうちに終わりました。

⑤東京魔術団イリュージョン公演 (H14.10.28)



引田天功のプロデュースによる東京魔術団イリュージョンサーマジックショーが記念棟狭しと繰り広げられました。舞台上で披露される様々なイリュージョンマジックに生徒達はただただ圧倒されるばかりでした。普段はテレビでしか見ることでできない催しに保護者も多数見物、白陵の先生も登場するマジックもあり会場は驚きと興奮に包まれていました。

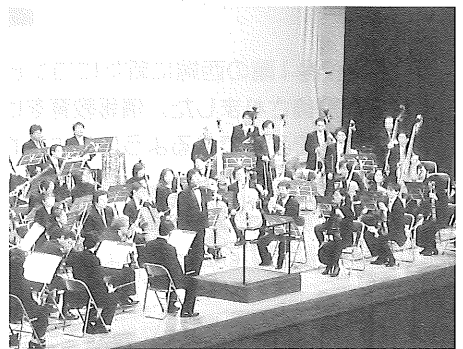
⑧田村亮子選手講演会 (H15.1.8)



歓声をあげていました。最後の質問コーナーでは白陵生の質問に田村選手が一本とられる一幕もあり、偉大な業績を残された田村選手の人柄がにじみ出る楽しい講演会となりました。

新年早々の一月八日、超ビッグなお年玉が白陵生に届けられました。シドニーオリンピック女子柔道金メダリストの柔ちゃんこと田村亮子選手が、白陵に来校、「夢・希望・情熱」をテーマに、今まで積み重ねてきた経験や数々の国際試合を題材にして生徒達にもわかりやすい内容で講演いただきました。田村選手の話に生徒達も大いに元気づけられた様子で、実物の金メダルには大

⑥大阪フィルハーモニー交響楽団 演奏会 (H14.11.11)



白陵に大フィルのフルオーケストラが来校し、記念棟で記念演奏会が盛大に催されました。記念棟には音響も工夫が凝らしてあり、梅田俊明氏の指揮で、チャイコフスキーの交響曲第5番ホ短調作品64など名曲の数々が響き渡り、生徒達は居ながらにして大フィルの生演奏を堪能することができました。

⑩女子バレーボール・Vリーグ招待球技大会
(H15.6.3)



生徒会の四十周年記念球技大会を飾るイベントとして、女子バレーのVリーグチーム「東レ・アローズ」と「JT・マーヴェラス」を記念棟に招いての試合を観戦しました。プロ選手の迫力満点のプレーを特等席で興奮しながら観戦した生徒は、目の前で繰り広げられるアタックやレシーブに時折歓声を上げながら拍手を送っていました。一流選手のプレー観戦を通じてスポーツの感動を味わい、試合後のサイン会や技術指導にも多数の生徒が並びました。

⑨アンソニー・ツー博士講演会
(H15.2.27)



アメリカ・コロラド州立大学名誉教授で、世界的な毒素学の権威であるアンソニー・ツー博士に「身のまわりの毒素」をテーマに、話題になったサリン、生物兵器、毒ガスなど様々な毒にまつわる講演をしていただきました。毒は人体に悪影響を及ぼすものであり、毒が人体にどのような影響を与えるのかについて具体的に解説していただき、改めて毒の恐ろしさを実感しました。講演会の後も、先生を囲んで熱心に話を聞いた生徒も多く、博士には予定していた時間を大きくオーバーして白陵生の好奇心を満たしていただきました。

学校トピックス **コンピュータ教室完成**

第1校舎1階の西端に新たにコンピュータ教室が整備されました。情報教育をはじめ幅広い授業で利用できるように工夫されたサーバー、クライアントは、豊富な周辺機器やソフトと相俟って、生徒の情報の実習に大いに威力を発揮することでしょう。



白陵中・白陵高等学校 待望の公式ホームページ開設

学校では、このたび待望の公式ホームページを開設されました。ぜひ一度アクセスして、母校の近況をご覧になってください。

URL <http://www11.ocn.ne.jp/~hakuryo/>

平成15年 大学入学試験合格者数

国公立大学				
大学名	13年	14年	15年	
東京大	22	29	23	
京都大	18	23	12	
大阪大	19	33	22	
神戸大	21	11	16	
北海道大	3	3	3	
東北大	4	2	1	
一橋大		7	3	
筑波大	3	1	1	
東京工業大	4	2	2	
横浜国大	3	2	4	
岡山大	3	6	7	
広島大	1	2	3	
九州大	2	2		
大阪市大	5	1	7	
大阪府大	2	5	7	
その他	32	40	48	
合格者計	142	169	159	
(内医学部)	(27)	(23)	(26)	

私立大学				
大学名	13年	14年	15年	
早稲田大	21	31	34	
慶応大	19	37	25	
上智大	1	1	1	
中央大	2	5	10	
東京理大	6	9	7	
関西学院大	17	34	25	
関西大	11	5	11	
同志社大	23	20	20	
立命館大	21	20	26	
近畿大	2	3	5	
大阪医大	1	5	1	
兵庫医大	6	6		
京都薬大	3	2	2	
神戸薬大		3	3	
その他	30	28	44	
合格者計	163	209	214	
(内医学部)	(13)	(21)	(11)	
卒業生数	192	183	183	

白陵会役員名簿

平成15年7月5日現在

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事	13	水田 堅	常任幹事	35	阪本 覚
副会長	2	湖中 明憲	〃	13	矢野 善人	〃	36	内田 理恵
〃	3	天野 泰文	〃	14	片山 安孝	〃	36	杉岡 央基
〃	6	上田 喜裕	〃	16	田中 正一	〃	37	伊賀真紀子
理事(校内幹事総代)	2	川副 義文	〃	18	秋田 直樹	〃	37	亀山 信生
〃(研レ委員長)	3	神吉 裕資	〃	19	牛尾 英樹	〃	38	上野 絃之
〃(研レ副委員長)	4	森崎 晴知	〃	21	河合 恵介	〃	38	堀 素史
〃(総務)	9	村角 伸一	〃	22	新田 智弘	校内幹事	1	芳木 健憲
〃(総務)	10	吉田 達哉	〃	22	野津 康弘	〃	2	大内 義博
〃(広報委員長)	10	下村 康夫	〃	23	三木 健史	〃	3	長濱 憲雄
〃(広報副委員長)	11	志方 正彦	〃	23	中里 寛	〃	3	黒田 洋
〃(会計)	10	加藤 雅宣	〃	24	奥本 光廣	〃	4	原田 正和
〃(広報)	19	尾上 尚樹	〃	24	藤原 省悟	〃	6	福井 孝昌
〃(総務)	20	石井 秀武	〃	25	多根 正明	〃	11	小紫 一貴
書記	17	岡野 清和	〃	27	山田 将義	〃	11	宮崎陽太郎
会計監査	6	大崎 章快	〃	28	柿本 晴彦	〃	12	畔上 昇
〃	15	町田 直隆	〃	28	松本 守弘	〃	12	山口 透
常任幹事	1	伊藤 達也	〃	29	川田 雅彦	〃	12	中村 大吾
〃	1	芝本真須美	〃	29	長濱 道治	〃	14	久保 博彦
〃	1	武田久美子	〃	30	上新 貴弘	〃	15	村上 幸生
〃	1	正井 和野	〃	31	酒井 雅史	〃	15	西 善弘
〃	4	岸本 和男	〃	31	木下 智晴			
〃	5	塩崎 育男	〃	32	酒井 勇人	顧問(理事長)		三木 一正
〃	5	橋本 義仁	〃	32	伊賀有紀子	〃(校長)		浅江 季典
〃	7	萩本 義郎	〃	33	藤井 拓郎	〃(教頭)		中安 久隆
〃	8	山戸 敏彦	〃	33	魚橋由美子	〃	1	遠山 寛
〃	8	黒川 仁	〃	34	八尾 晋典	〃	1	黒坂 康夫
〃	9	鄭 幸男	〃	34	牧野 琢丸	〃	1	黒川 芳一
〃	12	吉野 太司	〃	35	石川 美帆			

白陵軍団全員集合(14)

～ 新進気鋭の二氏を紹介 ～



元気なまち明石をめざして
19期生 明石市長 北口 寛人

みなさんこんにちは、白陵19期卒業生の北口寛人です。私はこのたび、みなさんの温かいご支援をいただき明石市長に就任させていただきました。「北口さんは白陵でしょ、うちの子も卒業生なんですよ。」「白陵で北口さんの先輩にあたる〇〇さんから、推薦のお電話があつて支援しましたよ。」などなどのうれしいお言葉を耳にし、白陵ルートでの支援の輪の広がりを実感させていただき、心から感謝しております。本当にありがとうございます。さて明石市では、二年前に市民夏まつりで朝霧歩道橋雑踏死亡事故があり、同年暮れには同じ大蔵海岸で砂浜陥没事故が起きました。私は、これら二つの重大死亡事故の原因究明や、再発防止への取り組みは、この時期に新市長の任に就いた私に課せられた最重要の責務であると強く認識しています。また、厳しい不況や少子高齢化により福祉、医療、教育などの分野で行政ニーズが高まる一方で、明石市も大変厳しい財政状況にあります。この難局をどう乗り越えるのか、市長には経営者としての手腕も求められていることも実感しています。

どの課題も一朝一夕に解決がはかれるというものではありませんが、術を劣さず、熱意と心をもって正面からぶち当たっていくという姿勢を貫こうと決意しています。それこそ私が尊敬している影響を受けた故三木省吾先生から学んだバイタリティーあふれる生き方であり、白陵精神ではないかと思えます。

これからも母校関係者のみなさんには何かとお世話になっていくことだと思いますが、私も母校の名に恥じぬよう誠心誠意務めて参りますので、変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●明石市のホームページの中に「北口市長のページ」があります。
<http://www.city.akashi.hyogo.jp>



チャンスは4年に1回。
20期生
兵庫県議会議員 石井 秀武

暑い夏を乗り越えてこそ、目標を勝ち取ることができる。昨年、自転車にのぼりを立て汗をかきながら、同窓生宅を一軒一軒訪問させていただいたことが、昨日のことのように思われます。生まれ育った明石ではなく、隣接する神戸市西区で、県会の選挙に立候補の意思を固めたのが、丁度、5年前の夏でした。前回、人口増に伴い定数が2から3に増員されるとのことで、政治を目指すものにとってはまたとないチャンスとの到来でした。最近でこそ、組織も後援会もない若い議員が出てきていますが、まだまだ、誰かの後継であるとか、二世議員だとか労組系と言った組織もった議員が多く、定数が1増えると言うことは稀で、すなわちそこには全く新しい議員が誕生する。しがらみのない政治をするにはこの場所がいい。もちろんそれだけではなく、西区は私にとつては大変魅力のある街であり、神戸市と明石市の行政のあり方にも以前から疑問を持っていたので、是非とも21世紀の県市町の垣根を越えた広域行政について取り組んでみたいとの想いからです。落選した日から4年間は小さい子供を育てながら、ほんと大変でした。4年後に当選する保証などどこにもなく、日々の生計をたて、時間をみては駅頭に立ち、自分の政策チラシを一軒一軒ポスティングしながら、なんとかか過ごしてこれたと言うのが本音です。しかし、その間、白陵会役員の方々の励まし、また、同窓生ならびにそのご父兄の方々のご激励はわたしの活動の源となりました。この世界に飛び込み、今一番感じているのは「人との出会いに感謝すること」です。1回目で当選していたら、決して気付かなかったことをこの4年間で少し気付けたように思う。あくまで、目線は一県民。毎月初めの1週間は必ず駅頭に立つて気持ちを取りセットするよう心掛けています。最後になりますが、40周年を迎えた我が母校の今後益々の発展と白陵同窓会のご隆盛を心からご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

●石井秀武のホームページ
<http://www2.odn.ne.jp/ishihide>

在校生クラブ活動紹介

剣道部

我が白陵剣道部は現在三十名を越す部員が在籍し、北尾先生の御指導のもと日々練習に励んでいます。去年まで人数が少なかった高校部も今年は多くの部員をそろえ、つい先日の春季東播大会では見事男女ともに団体戦にて県大会出場、男子にいたっては念願のリーグ優勝を果たすという好成績をおさめることができました。また中学部においても私学大会において連続3位入賞という成績を残しています。



この白陵という学校は基本的に勉強重視の学校なので一日一時間弱という限られた練習時間を、最大限に活用しています。文武両道という言葉

葉の通り部活においても勉強においても、良い成績を残している部員も少なくありません。今後より一層活躍できるように、私達はがんばりたいと思います。

茶道部

私たち茶道部は、週に一回、白陵会館の和室でお茶のお稽古をしています。週に一回という限られた時間ですが、表千家講師の瀬尾先生ご指導のもと御盆点前や立礼、風炉を使った四季折々の御点前を楽しんでいます。



そして、裏千家の御点前との違いや、和室でのマナー、お茶やお茶菓子の頂き方等をも併せて教えていただき大変よい勉強になります。また、文化祭では、浴衣を着て、藤棚の下で立礼の御点前を行い、毎年多くのお客様に来ていただいで大盛況です。私たち自身この文化祭で多くのお客様の前で御点前をご披露することを一つの大きな目標として、お稽古に励んでいます。

茶道部といっても堅苦しい部では決してなく顧問の先生、先輩、後輩の仲もとてもよく、和やかな雰囲気の良いクラブです。

白陵の文化祭に来られる機会がありましたら、ぜひ、藤棚にお立ち寄りください。今年は九月七日(日)です。部員一同お待ちしております。

白陵会 平成14年度収支報告書 (平成14年4月1日~平成15年3月31日)

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 事務費支出, 会議費支出, 事業費支出, 備品費支出, etc.

Table with 4 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異. Rows include 前年度繰越金, 会費収入, 会費外収入, etc.

白陵会 平成14年度 会務報告

Table with 4 columns: 年月日, 内容, 年月日, 内容. Rows include 理事会, 定例役員会, etc.

白陵会 ニュース

●旧制姫路高等学校八十周年祭開催される

旧制姫路高等学校の八十周年祭が、平成十五年五月二十四日、二十五日の二日間にわたって、姫路工業大学新在家学舎内の旧制姫路高等学校記念講堂で盛大に催されました。

●三木学園理事・元原利文先生が勲等瑞宝章を授章

三木学園理事で、最高裁判所判事を務められた元原利文先生が、今春の叙勲で栄えある勲一等瑞宝章を天皇陛下から授章されました。

●旧職員 赤松初夫先生、兵庫県上郡町議に当選

白陵・岡山白陵の旧職員(英語)で、退職後は精力的にボランティア活動に取り組んでおられた赤松初夫先生がこのたび一念発起され、地元の上郡町議選に初出馬初当選されました。

★平成14年度退職教職員紹介

・豊田正彦先生(体育)昭和四十年〜三十八年間

白陵会 物故者(心よりご冥福をお祈りします。)

・渡辺秀明氏(四期生)平成十五年四月逝去
・龍田 啓氏(三期生)平成十五年五月逝去

第10回りょうゆう会ゴルフコンペ開催のご案内

- 日 時:平成15年11月2日(日) 午前9:00集合 午前9:31スタート
■会 場:栗賀ゴルフクラブ TEL 0790-32-1621
■競 技:18ホールストロークダブルペリア方式
■費 用:会費 5,000円 ビジタープレー代 約14,000円
■問合せ:村角伸一(9期)090-8655-3388 田中 茂(9期)090-3494-8229 尾上尚樹(19期)090-2595-0665
■申 込:①FAX 0794-25-7555 昭和住宅㈱りょうゆう会係 ②TEL 090-2595-0665 尾上尚樹宛 ③E-MAIL n-onoe@nifty.ne.jp 尾上尚樹宛



編集後記

●この一年間、白陵では40周年記念イベントで大いに盛り上がりました。今回は、その様子を紙面上でご紹介しました。●学校も遂にホームページを開設されました。同窓会もホームページをという声に後押しされて作りました。●ご声援ありがとうございます。●統一地方選挙で同窓生が次々に当選、今後の活躍が期待されます。●名簿発行の遅れが迫ってきました。ぜひともご協力をお願いします。●名簿で住所不明の記載を見るのはさびしい限りなので、●イラク戦争や北朝鮮問題で宮嶋茂樹氏(十五期生)は多忙で売れっ子となった様子。体に気をつけてください。●ラウンド研修旅行がテロとSARSの影響で北海道に急遽変更となり生徒はがっかり。●六月七日、学校の時計塔に落雷、電話電気が放電がダウンするなど被害甚大。●来年も二十四号が届けられるよう住所変更の際は必ずご連絡ください。